

四万十川「上下流の交流」(平成 27 年度)

主催・四万十川流域住民ネットワーク

協賛・四国の川を考える会

協力・国土交通省中村河川国道事務所

- ① 主旨 川の生命線である「水際」を川側から清掃し、美しい四万十川を守る！
三軸（官民・上下流・青少年）の人的交流による「面的連携の効果」
また、青少年の健全育成による「行動の伝承と継続」時間軸的效果も期待。
- ② 手法 源流からの人を招いてのカヌーによる「川面からの水際清掃」=上下流交流
- ③ 募集 四万十川カヌークラブメンバーを中心とした募集 + ネットでの配信
- ④ 場所 四万十川 D=13~D8km（直轄区間）の水面及び岸辺
- ⑤ ゴミ 国土交通省中村河川国道事務所の主宰する「アドプトプログラム」によって発生したごみは四万十市が処理。
- ⑥ 連携 参加者を広く求め「上下流+官民+大人と子ども」の連携を図る。



初夏の陣 2015.6.28（日）9：15～13：30

参加者は源流からとそれ以外に県外市外市内から 15+5=20 名の参加であった。

上下流・県内外の人的交流が出来た。またゴミは写真の様に沢山あった。



陸からは歩いてはいけない水際の清掃は二種類のカヌーが最適で、カヤックは「採取」カナディアンは「集積運搬」の機能を発揮した。

水溶しない「ケミカルゴミ」は四万十川の大敵だと認識しながらの作業だった。



作業の目的と作業中の写真は「NHK.TV」(7/8)で放送された。



秋の陣 2015.9.21 (祭) 9:15~13:00

多くの地元小学生の参加があった！全体で20名の出発式だった。国土交通省・環境省・林野庁・民間人+小学生が楽しく参加し上下流の交流ができた。



開会式



瀬のゴミ拾いはベテランの作業



冬の陣 2016.1.2 (土) 10:30~12:00

冬の陣 の当初の計画は12月中旬だったが、落ちアユ漁が盛況で邪魔になる為にカヌー清掃は中止し、落ちアユ漁の後の河川敷の清掃に切り替えた。

しかし12/10の「大雨」で出水し河川敷は水没した。同時に河川敷のゴミは無くなってしまったので、赤鉄橋上流の近自然護岸の釣り場の清掃となった。

予定変更が続いたため、地元での参加者が中心となった。
参加者は小学生7名大人2名…関係者を含め合計10名だった。





1. 2回目は「上流と下流」つまり「山と川」の交流が行われた。
- 3回目は「落ち鮎漁や大雨」の為、日程が流動的となり下流の子ども達の河川清掃となった。